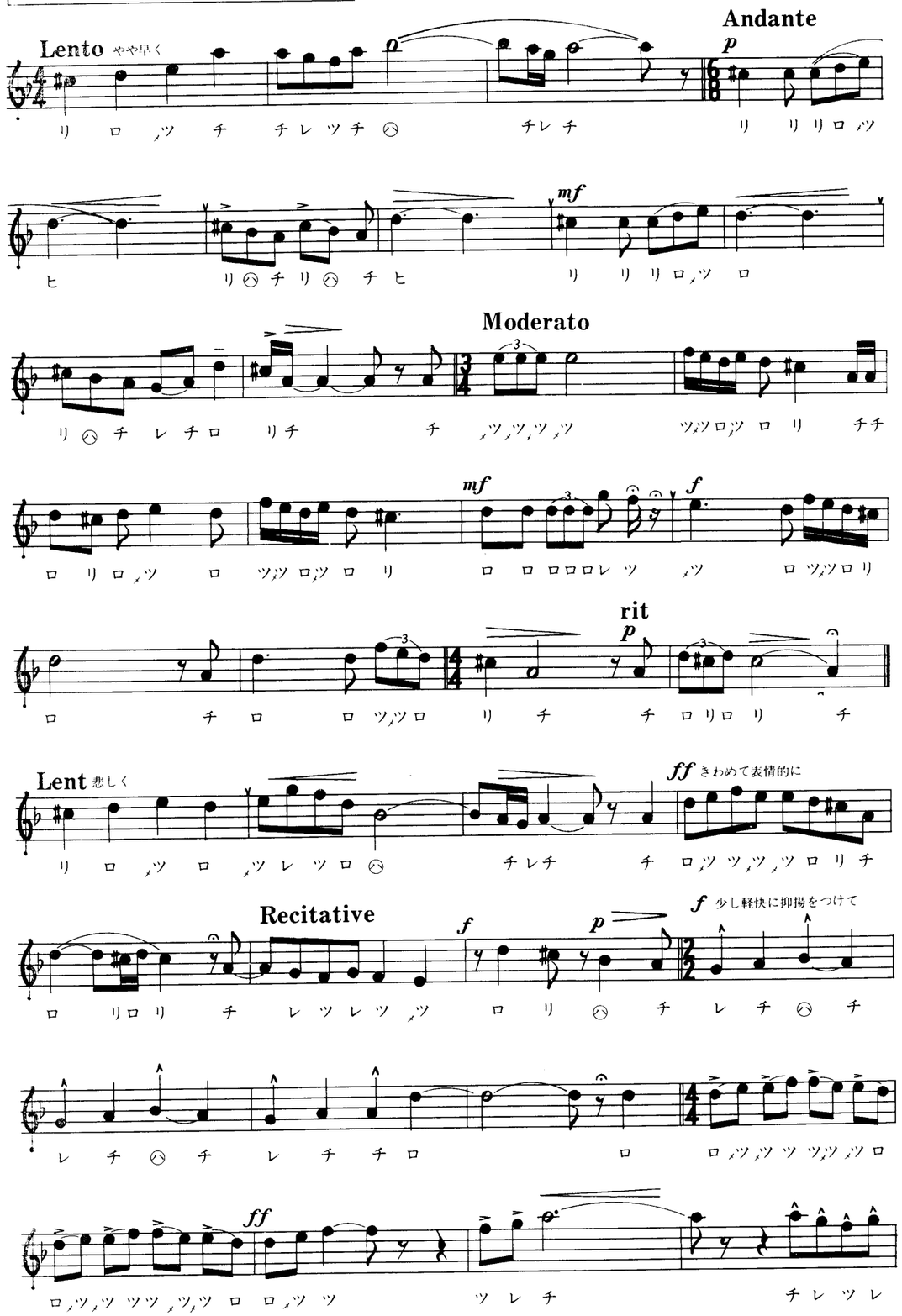
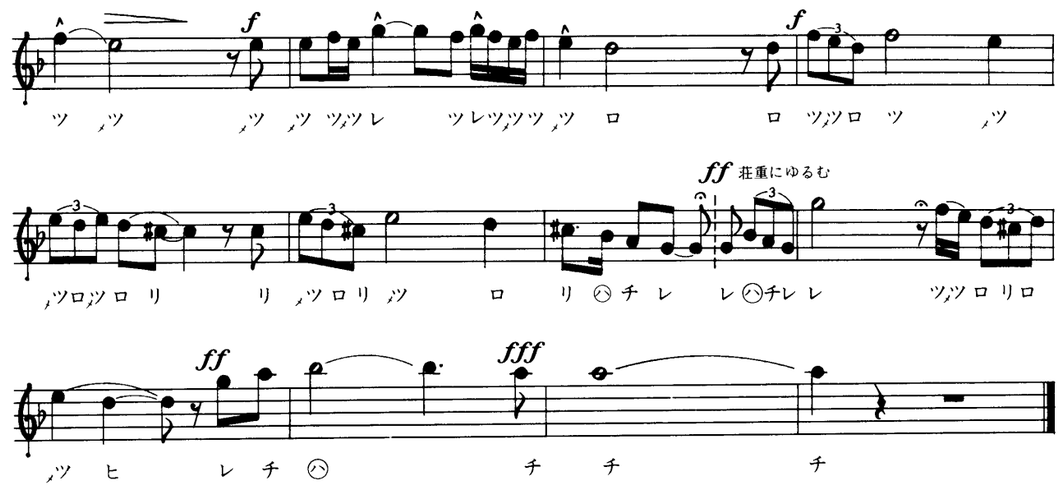
エリ エリ （ユダヤ古歌）





（原歌詞の訳）

あ、　神様
どうして私たちをお棄てになられたのです

世間の人々は　火と炎で私たちを焼き
いたるところで　私たちを辱(はずか)しめ
笑いものにしました
それでも私たちのうちだれ一人として
聖なるモーゼの五書を　十戒を
棄てて去っていったものはありません

あ、　神様
どうして私たちをお棄てになられたのです

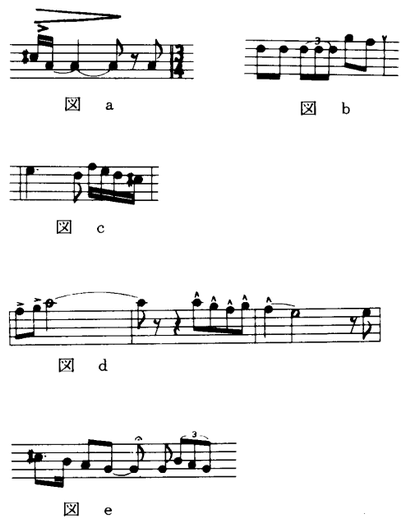
昼も夜も　私はただ祈ります
運命の神モイラの加護のもとに
モーゼの五書を守り抜き
こう祈るのです

“私たちをお救いください
いま一度　お救いください!!
私たちの祖先と宗祖のために!!
お聴きください
私たちの祈りを　悲しみを!!
あなたはお救いになれるのですから
神様　あなただけがおできになれるのです
聖なる書に記されているではありませんか
「イスラエルよ聴け!!
エホバこそ　私たちの
永遠なる唯一の神」と”

（練習上の注意）

この曲は他国人から、想像もできないほどの迫害を受けた、ユダヤ民族のかたい信仰に基く祈願の歌で、「エリ　エリ」は哀願です。冒頭の3小節が前奏で、「へ」はいちじるしいアクセントを表わします

図aのC♯Aを目立つように。17小節目は最初の盛り上りであるため、16小節の終りの図bのF音を一瞬止めて、次の図cに入ります。

次の盛り上がりは、図dの38小節目で、39小節目は力を抜かず、祈りの言葉に入ります。

図cの46小節目は、𝄐（フェルマータ）の次からゆるんで荘重になります。そして終りに向かって勇大に、天地に神は一人だという信仰を宣言します。